

# IR HANDBOOK

第69期 事業のご報告  
2017.4.1▶2018.3.31



人を豊かに、地球を美しく

# 私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

拡大・成長  
牽引部門

## 貴金属関連事業

売上高構成比  
63.4%

### 事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



### 貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

### 環境事業の概要

重金属含有廃液（廃酸・廃アルカリ等）の無害化処理や金属含有廃液からの金属回収、廃油・汚泥・廃プラ等のあらゆる廃棄物のリサイクルを行っています。

### 貴金属事業の強み

1. 貴金属めっき薬品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

### 環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

### 事業フロー



安定的成長  
部門

## 食品関連事業

売上高構成比  
36.6%

### 事業の成り立ち

1948年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



### 事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材（水産品・畜産品・農産品など）を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

### 事業の強み

1. ニーズに沿った加工地や産地を提案し、ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。現地法人を活用し、グローバルな調達ネットワークを展開。

### 事業フロー



## 中期経営計画の着実な達成と、さらなる事業基盤の強化に邁進します。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

### 2018年3月期の業績と配当につきまして

2018年3月期においては、企業収益や雇用情勢が改善し設備投資が増加するなど緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費は力強さを欠いたほか、国内の労働力不足や海外経済の不確実性による景気下振れ懸念等を背景に、先行き不透明な状況で推移しました。

こうしたなか貴金属関連事業では、国内外の生産拠点の活用と営業展開の強化を進め、貴金属原料の確保や化成品等の製品販売、産業廃棄物処理の受託拡大に取り組みました。その結果、貴金属製品の販売量が増加し、貴金属リサイクルおよび産業廃棄物の取扱量が拡大したほか、貴金属価格の上昇もあり、増収増益となりました。

食品関連事業では、顧客ニーズをとらえた商品の開拓・提供に鋭意取り組み、国内のみでなく海外展開の拡大も含む積極的な営業活動により販売数量が増加し、一部品目を除き販売価格も上昇したことから、増収増益となりました。

この結果、2018年3月期の連結業績は、売上高は前期比16.6%増の1,901億84百万円、営業利益は同64.8%増の48億77百万円となりました。経常利益は同48.7%増の51億42百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同40.9%増の34億59百万円となりました。

期末配当金につきましては、期初予定通り1株当たり14円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は28円といたしました。2019年3月期の1株当たり年間配当金につきましては、前年比2円増配の30円とする予定です。

### 今後も継続的かつ安定的に目標数値を達成するべく、事業基盤のさらなる強化に注力します

2017年3月期にスタートした3カ年の中期経営計画は最終年度を迎えておりますが、2018年3月期において、外部環境の変化もあり、営業利益では連結業績目標である40億円を達成しております。今後も継続的かつ安定的に目標数値を達成するべく、次期中期経営計画に向けた、事業基盤の強化に注力してまいります。

貴金属関連事業では、引き続き「東アジアNo.1のリファイナー」を目指し、グローバルな競争に対応した商品・サービスの強化を図り、収益力を高めてまいります。今後とも国内拠点の整備を推進するほか、海外拠点における地域戦略の強化に取り組み、電子部材・化成品等の販売や貴金属リサイクル原料回収の拡大を図ります。また、省金化等への対応や貴金属回収技術の向上、エレクトロニクス業界等のニーズに応えた化成品の開発に向けた研究開発にも積極的に取り組み、さらなる差別化と販売の拡大を目指してまいります。産業廃棄物処理においては、当社グループの廃酸・廃アルカリ処理設備や全国の許認可網および物流ネットワークを活用しながら顧客ニーズに応えることでサービスを拡大し、付加価値の向上に努めてまいります。

食品関連事業では、長年培ってきた品質保証ノウハウを今後も活かし、安全・安心かつ高品質な食品原料を安定的に供給することで差別化を図り、変化する顧客ニーズを着実にとらえてさらなる販売拡大を目指します。今後の輸入原料価格の上昇等にも対処して収益性の確保を図るほ

### 2018年3月期 ハイライト

#### 貴金属関連事業

- 2017年5月  
2017NEW環境展に出展
- 2017年6月  
JPCA Show 2017に出展
- 2017年10月  
TPCA Show 2017 (台湾)に出展
- 2018年1月  
第47回ネプコン ジャパンに出展

#### 食品関連事業

- 2017年4月  
海外事業推進部を新設
- 2017年5月  
ベトナムに現地法人を設立

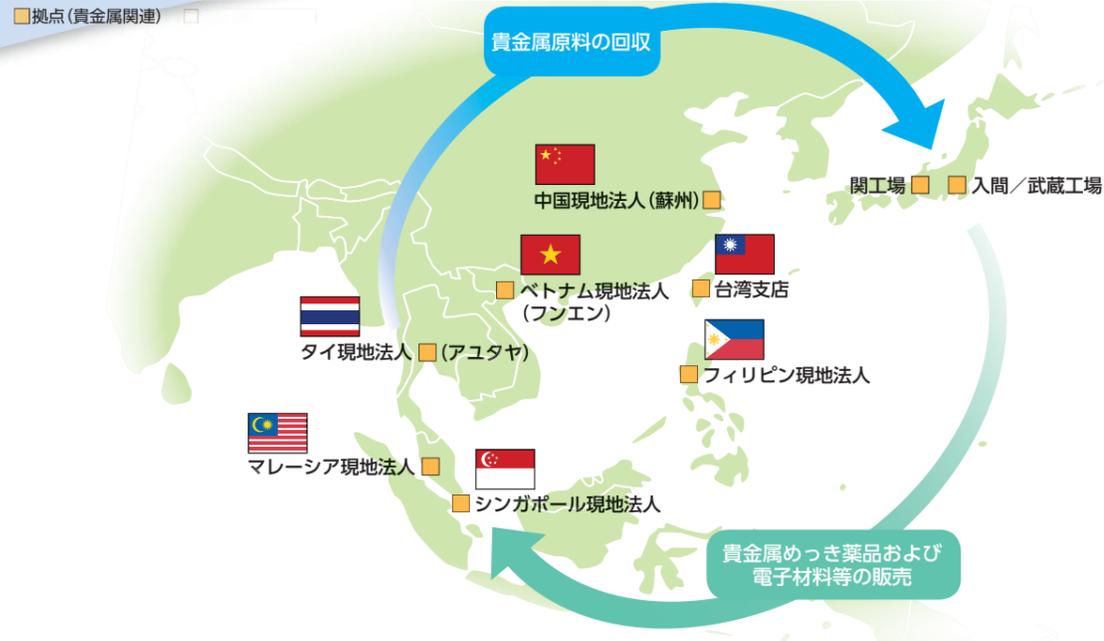
か、近年において拡充してきた中国、タイ、ベトナムの現地法人を活用し、良質な供給ソースの確保と新規顧客の開拓を進めてまいります。

このように事業基盤の強化・拡充を進めながら、当社グループは、引き続き貴金属関連事業を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、株主、お客様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様のご期待に応えていく所存です。また、当社グループの「限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する」という企業理念に根差した事業活動そのものが、「ESG（環境・社会・ガバナンス）」や「SDGs（持続可能な開発目標）」への取り組み、持続的な企業価値の向上に直結するものであると考えております。

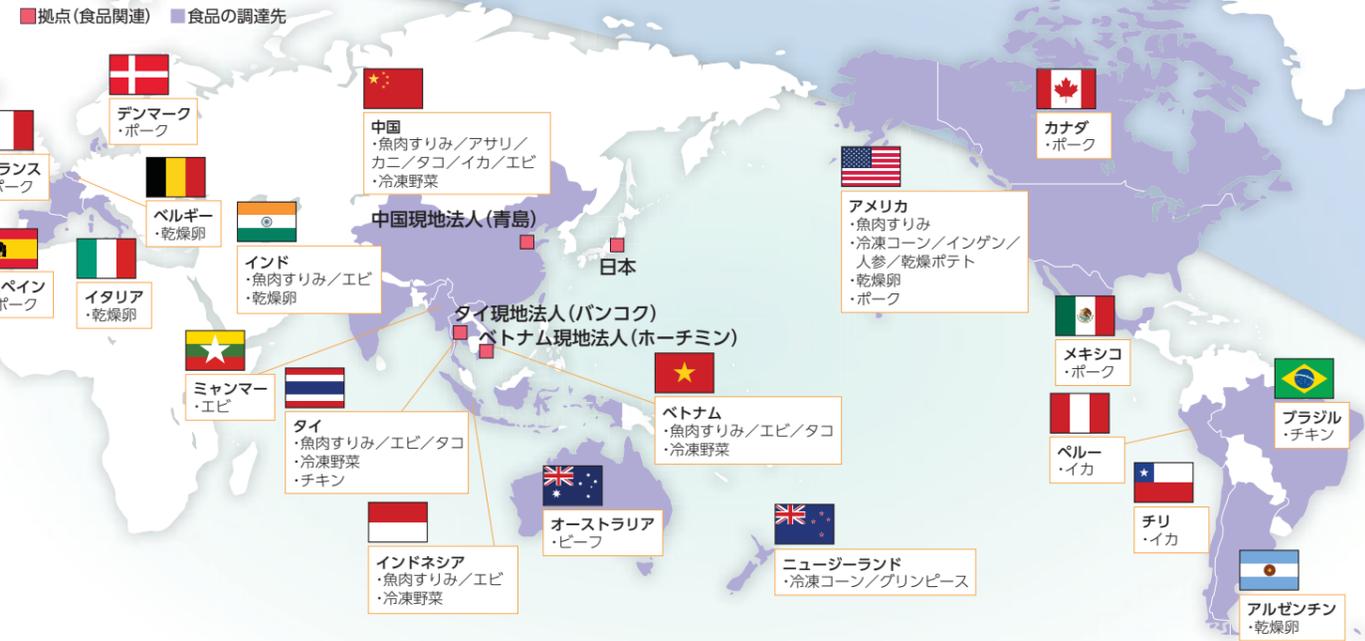
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# グローバルネットワーク & 営業概況

## 貴金属関連事業 東アジアネットワーク



## 食品関連事業の 拠点と主な調達先



## 貴金属関連事業

### 2018年3月期の業績

主力顧客であるエレクトロニクス業界においては、スマートフォンへの偏重から車載機器やIoT向けの需要が高まり、半導体・電子デバイス分野の生産状況が好調に推移しました。こうしたなか、貴金属リサイクルの取扱量が拡大し、金製品、電子材料等の販売量や産業廃棄物処理の取扱量が増加したほか、貴金属価格の上昇もあり、売上高は増加しました。

### 2019年3月期の見通しと施策

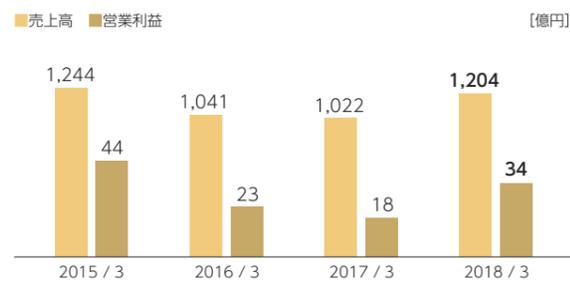
海外経済の不確実性など先行き不透明な状況が続くものの、国内景気は緩やかな回復基調の継続が期待されます。国内外の拠点強化や効率化を進めるとともに、新規需要を積極的に開拓し、業容の拡大を図ります。

Q 貴金属関連事業では貴金属製品や電子材料等の販売量が増えたとのことですが、具体的にどのような製品が売れていますか？

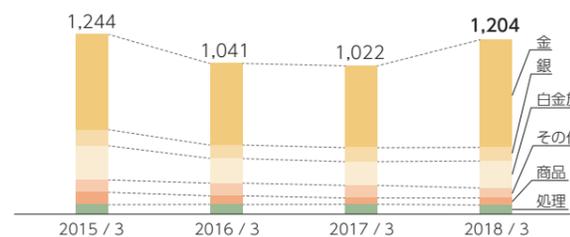
自動車用電子デバイス・半導体関連のほか、IoT関連の需要が高まっていることから、当社が製造する貴金属めっき薬品や、貴金属蒸着材などの薄膜形成材料等の販売数量が伸びています。これらは、他にもスマートフォン向け半導体や電子デバイスの製造など、広範囲に用いられています。

売上高 **1,204億円** (前期比 17.9%増)

営業利益 **34億円** (前期比 83.6%増)



### 品目別売上高



## 食品関連事業

### 2018年3月期の業績

食品製造業界は個人消費の弱さから国内市場では大きな成長が見られなかったものの、加工食品の需要の高まりや海外展開の拡大等により、生産状況は緩やかに上昇しました。こうしたなか、水産品や畜産品の販売数量が増加し、すりみ、鶏卵など一部の品目を除き販売価格が上昇した結果、売上高は増加しました。

### 2019年3月期の見通しと施策

国内景気の緩やかな回復を背景に高付加価値品の需要拡大が期待されるなか、海外拠点の活用も含め、顧客ニーズを的確にとらえた営業活動を行い、安全・安心・安定供給を根本に据えた差別化のもと、着実な収益確保を図ります。

Q 2016年に買収したガルフ食品株式会社の寄与が顕著なようですが、従前の食品関連事業との間にどのようなシナジーが生まれていますか？

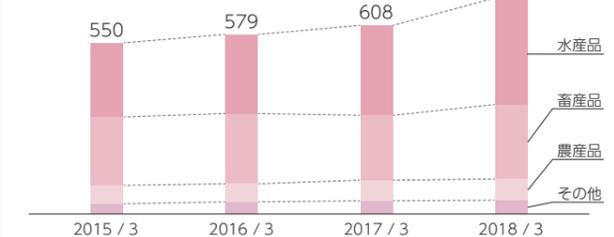
ガルフ食品は、水産品の専門商社として、40年近くにわたって築いてきた輸入実績とノウハウを持ち、水産物の輸入において強みを発揮しています。現在、魚肉すりみ等をはじめとする当社の水産品ビジネスにおいて、顧客の増加や仕入れ先の拡大等のシナジーが生まれており、食品関連事業の売上成長に寄与しています。

売上高 **696億円** (前期比 14.6%増)

営業利益 **14億円** (前期比 33.1%増)



### 品目別売上高



海外事業のさらなる拡大へ向けて

当社は貴金属関連事業と食品関連事業の双方において、海外展開を最も重要な成長戦略の一つとしています。「東アジアNo.1リファイナー」を目指す貴金属関連事業では、1992年より海外拠点の設置を開始し、海外事業の拡大に注力してきました。食品関連事業においても、2012年より拠点展開を進め、2017年には海外事業推進部を新設するなど、海外展開の強化に取り組んでいます。

[貴金属関連事業]

- 1992年 シンガポール支店を開設
- 2000年 タイ現地法人(アユタヤ)を設立
- 2004年 フィリピン現地法人を設立
- 2005年 シンガポール現地法人を設立
- 2007年 中国現地法人(蘇州)を設立
- 2009年 マレーシア現地法人を設立
- 2011年 台湾支店を開設
- 2014年 ベトナム現地法人(フンエン)を設立

[食品関連事業]

- 2012年 中国現地法人(青島)を設立
- 2013年 タイ現地法人(バンコク)を設立
- 2017年 海外事業推進部を新設  
ベトナム現地法人(ホーチミン)を設立

さらなる企業価値の向上を目指して、引き続き海外事業の拡大を図ります

国内事業拠点の継続的な強化も進めています

技術革新のテンポが速い半導体・電子デバイス業界を主要顧客とする貴金属関連事業では、最先端の付加価値を顧客に提供し続けるため、当社の貴金属材料製造技術や貴金属リサイクル技術も常に進化させていく必要があります。その一環として、2018年3月期は、関工場(岐阜県関市)において、貴金属製錬の前処理設備の拡充を目的として、新たに土地を取得しました。また、2020年3月期にかけて関工場の生産設備に関する設備投資を実施する予定です。これにより、貴金属リサイクル市場における、当社リサイクル取扱量の拡大を加速してまいります。



関工場(岐阜県関市)

ISO 9001とISO 14001の統合マネジメントシステムを運用

確かな品質を通じて顧客満足と社会における最終的な価値を実現することや、工場など製造現場において地球環境への配慮を徹底することは、当社のESGへの取り組みの視点からも重要なテーマの一つであると認識しています。当社は、品質マネジメントシステムであるISO 9001と、環境マネジメントシステムであるISO 14001について、2017年10月に統合審査によりそれぞれ認証登録されました。併せて、当社の統合マネジメントシステムは、基準に適合して運用していることを認証機関より認められました。今後も統合マネジメントシステムの運用により、品質管理体制と環境管理体制の継続的改善を図っていきます。



統合マネジメントシステム運用証明書

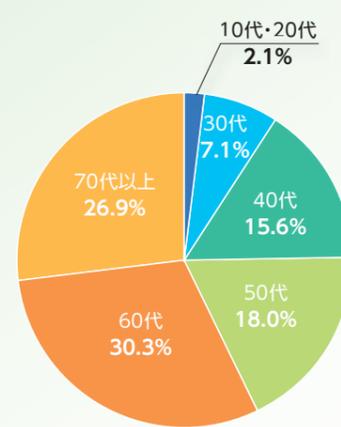
結果ご報告

～株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございます～

第68回(2017年3月期) 定時株主総会決議ご通知に同封いたしました株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。多くの株主の皆様にご回答いただきましたことを厚く御礼申し上げますとともに、結果の一部をご紹介します。

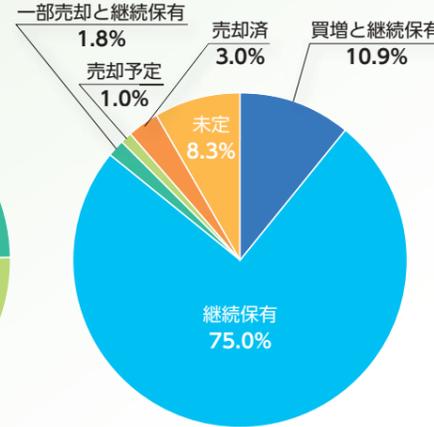
調査期間:2017年6月29日～7月31日 回答率:48.2%

株主様世代構成



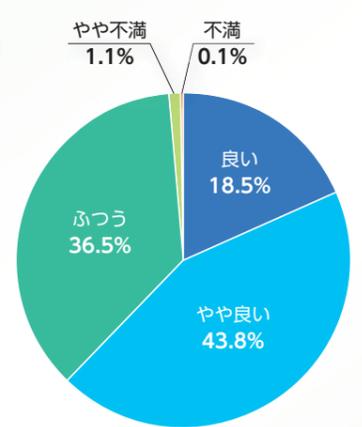
昨年(2017年3月期)に比べ60歳代および70歳代以上の比率が高まり、合わせて6割弱となりました。

当社株式の今後の保有方針



4名中3名の方が「継続保有」と回答され「買増と継続保有」と合わせて9割弱となりました。

IRハンドブック(見やすさ)について



「良い」「やや良い」を合わせて6割以上となりました。

ご意見・ご要望等(コメント記入欄より)

- 今後も、安定した配当と優待を希望します。
- リサイクル事業は今後ますます重要になると思いますので、期待しています。
- 食品関連事業での市場拡大と収益向上に期待しています。
- 地球資源を大切にしている企業なのでずっと存続して欲しい。また、この技術を世界にも広めて欲しい。
- CSRに関する情報も、IR HANDBOOKに掲載して欲しい。
- 食品部門があるので、株主優待制度を選択式にすることを検討してはいかがでしょうか。
- 市況に影響されにくい体質づくりをお願いします。
- 長期保有を考えているので、頑張ってください。
- M&Aがあってもよい。
- ROEの向上策を期待しています。

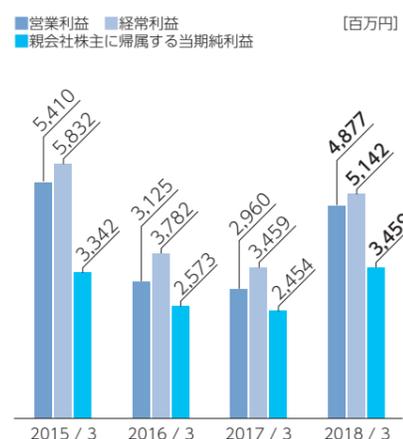
多くの株主様より貴重なご意見・ご要望を賜りまして、誠にありがとうございます。今後の企業活動や情報発信等の参考にさせていただきます。当社は今後も、株主の皆様とのコミュニケーションの強化に取り組んでまいります。引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今回(第69回)の定時株主総会決議ご通知にも、株主様アンケートを同封しております。大変お手数ではございますが、ご協力いただけますと幸いです。

売上高



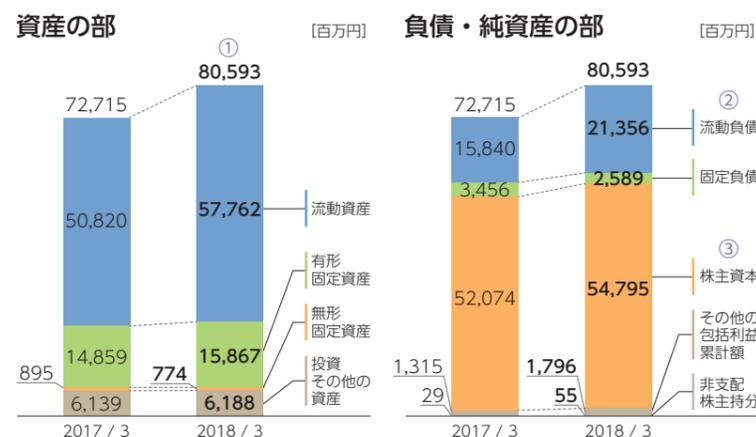
営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当/配当性向

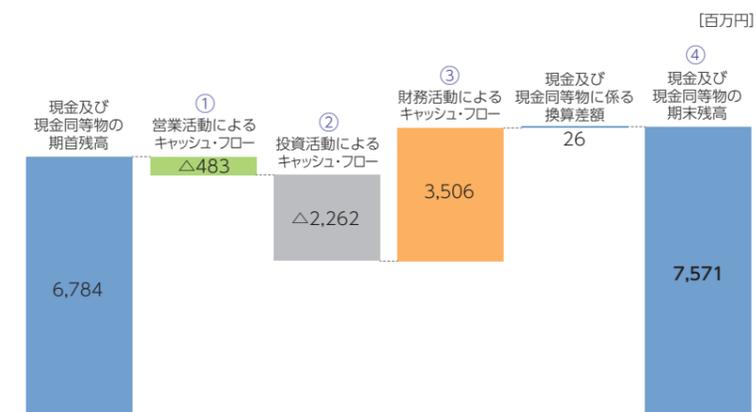


貸借対照表



- ①現金及び預金・売上債権・たな卸資産の増加と、土地の取得による固定資産の増加等により、資産の部は7,878百万円の増加となりました。
- ②借入金の増加等により、負債の部は4,649百万円の増加となりました
- ③配当金の支払いによる減少を、親会社株主に帰属する当期純利益による増加が上回ったことなどから、純資産の部は3,228百万円の増加となりました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益、減価償却費による資金の増加と、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払いによる資金の減少の差引等により、483百万円の支出となりました。
- ②土地及び工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得等により、2,262百万円の支出となりました。
- ③借入金の増加等により、3,506百万円の収入となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から787百万円増加し、7,571百万円となりました。

会社概要 (2018年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	1,214名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員一覧 (2018年6月28日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査等委員	畠山 伸一
取締役副社長	對馬 浩二		内山 敏彦
取締役	片山 雄司		樋口 和男
	山崎 隆一		中岡 利徳
	木下 敦視		
	石禾 健二		
	都築 淳一		

※監査等委員はいずれも社外取締役です。

事業所 (2018年3月31日 現在)

金属・環境営業本部	仙台 / 水戸 / 東京 / 神奈川 / 長野 / 名古屋 / 金沢 / 大阪 / 福山 / 福岡 / 鹿児島
アーバンリサイクル営業部	仙台 / 埼玉 / 東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡
食品事業部	札幌 / 仙台 / 塩釜 / いわき / 北関東 / 東京第一 / 東京第二 / 小田原 / 名古屋 / 大阪 / 松山 / 福岡 / 品質保証室
生産部門	開発センター / 武蔵工場 / 武蔵第三工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 関工場

関係会社 (2018年3月31日 現在)

マツダ流通株式会社	貨物自動車運送
マツダ環境株式会社	貴金属製品販売
日本メディカルテクノロジー株式会社	金属原料の回収・販売
北海道アオキ化学株式会社	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
ゼロ・ジャパン株式会社	各種廃棄物処理・設備販売
ガルフ食品株式会社	水産品の輸入卸売
日鉄住金マイクロメタル株式会社	電子工業用金属製品の製造・販売

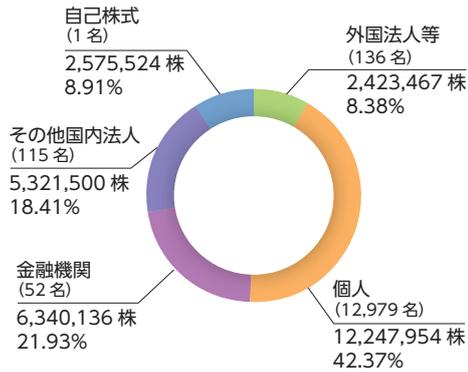
現地法人 (2018年3月31日 現在)

貴金属関連	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
Matsuda Sangyo (Vietnam) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売	
食品関連	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Vietnam) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仕入仲介

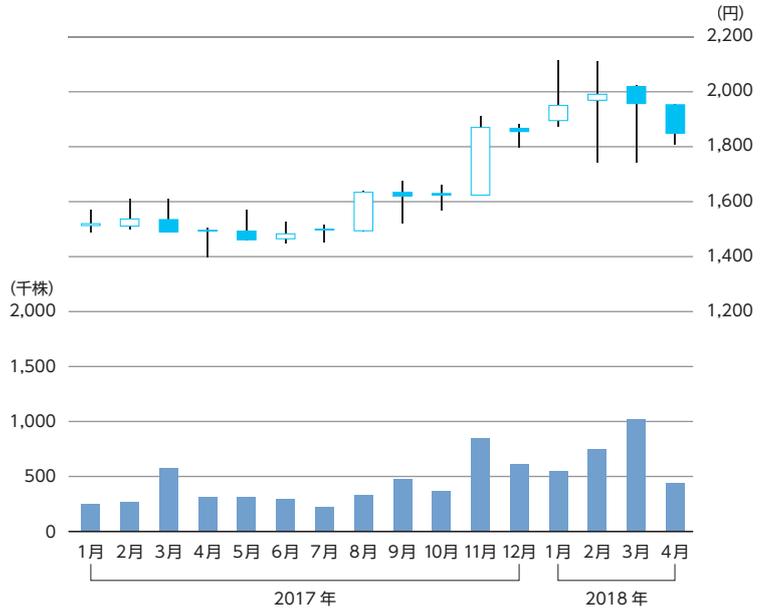
## 株式の状況 (2018年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	13,283名

## 所有者別分布状況 (2018年3月31日 現在)



## 株価・出来高推移



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html">http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 株主優待

#### 1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。

#### 2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



#### 3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

### ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### (株式に関するマイナンバー制度のご案内)

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けいただく必要があります。

#### 【株主関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書
- ・配当金に関する支払調書
  - ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

### 【マイナンバーのお届けに関するお問合せ先】

証券会社等の口座にて株式を管理されている株主様…お取引の証券会社等にお問合せください。  
証券会社等とお取引がない株主様…三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合せください。  
TEL.0120-232-711 (通話料無料)



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル  
Tel. 03-5381-0001 (代表)

